

新 電子図書館構築事業

文化財・生涯学習課

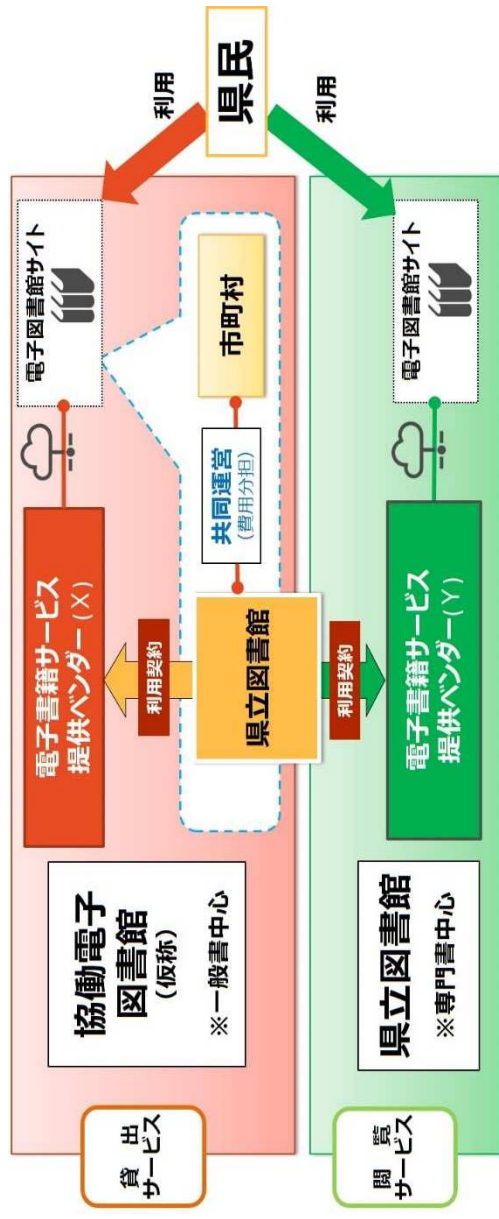
1 目的

居住地や年齢、障がいの有無にかかわらず、いつでも、無償で良質な情報（書籍）にアクセスできる環境を、県内の公共図書館（公民館図書室）が連携協働し整備することで、県民の「学び」の基盤づくりと「公正な社会づくり」に寄与する。

2 事業の概要

- ・市町村と協働で住民ニーズに対応する電子書籍貸出サービスを導入、運営（一般書、バリアフリー対応書籍等）
- ・県民の調査研究支援のための電子書籍閲覧サービスを県立図書館のサイトに導入（学術書、専門書等）

【事業イメージ】



3 事業のねらい

- ・年齢や、居住地・交通手段・生活時間等による様々なバリアにより、これまでリアルな図書館を利用しにくかった県民への学びの基盤を提供
- ・G I G A スカール構想等、デジタル社会における学びの変化に対応するデジタルコンテンツの充実
- ・公共図書館未設置町村が 21 あるなど、身近に「本」に触れる場所が少ない本県における学びの環境を整備
- ・災害やコロナ感染症等の状況に影響されず、図書館サービスを維持する環境を整備

〈公共図書館の電子書籍サービス導入状況：都道府県 11、市区町村等 261（県内：高森町）（2022.1.1 現在）〉

4 予算案 38,578千円

（市町村振興協会助成金 20,000千円 こどもの未来支援基金 8,000千円 一般財源 10,578千円）

○購入予定電子書籍数

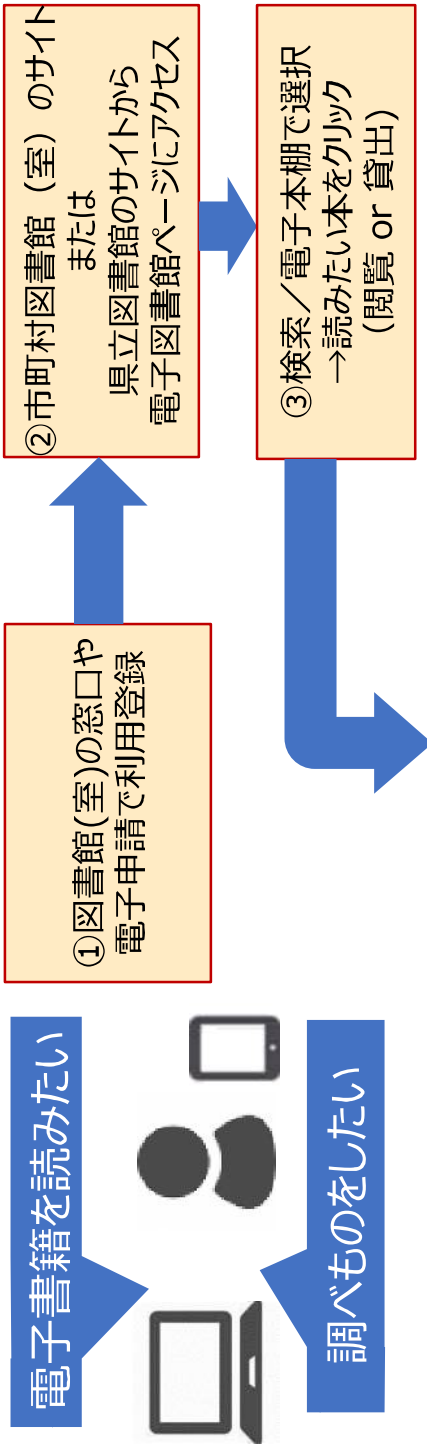
- 【貸出サービス用】7,000点
（平均単価4,000円/点）
文芸書、実用書、児童書、バリアフリー対応等
- 【閲覧サービス用】500点
（平均単価10,000円/点）
専門書、学術書、事典・辞書等

（単位：千円）

項目	内容	R4 予算額
貸出サービス	サイト構築費	1,900
	電子書籍購入費	28,000
	システム利用料	2,600
閲覧サービス	システム改修費	1,078
	電子書籍購入費	5,000
合計		38,578

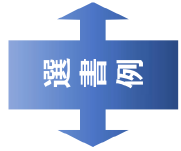
図書館用の電子書籍サービス（電子図書館）とは

従来の図書館同様に、電子本棚からデジタルの本を借りて読むことができるサービス



電子図書館本棚

**専門書・学術書
(閲覧サービス)**



**一般書
(貸出サービス)**



※図書館向けライブラリアップは電子書籍全体の1/10程度

- ・デジタルの優位性を活かせる本
(用語検索が可能、動画・音声などが埋め込まれている等)
- ・スマホやタブレットでも簡単に読め、暮らしの役に立つ本 (紙媒体ニーズを補完)
- ・バリアフリー対応コンテンツ
(フォントサイズの変更、音声読み上げ機能等)

出版物 約7,000冊程度購入

青空文庫 著作権切れの作品

オリジナル 県や市町村が著作権を持つ資料のデジタル化も推進

